

安全・安心のニュースはどうつくられるか

2月8日 毎日新聞・小島正美

- ①不二家事件＝二の舞を認識したのは外部コンサルタント。
TBSは裏づけ不足で誤報に近い報道(悪いことを探せ)
- ②姉齒事件は別件逮捕。単独犯の色合いが強い(悪いヤツはだれだ!)
- ③鳥インフルエンザ。5億人死亡か。(危ないこと、不安はニュース)
- ④抗うつ薬で自殺増加。米国では否定。(不安は警告でよいニュース)
- ⑤BSE。米国から圧力、消費者不信。(公表せず、圧力は悪)
- ⑥三井住友・大和証券統合。いまだに統合せず。(修正がない)
- ⑦柏崎原発。震度報告せず、した、どっち?。実は7月末に発表(真実検証)

◆リスクに関するニュースは、リスクの大きさでは決まらない。
別図を参照。「危ない」がどうしても増幅される仕組みになっている。

- ⑧BSEの全頭検査。当時の記事で「これでやっと安心」の談話。
知事は「検査した結果、陰性です。安心して食べてください」
当時の論調は、一次検査と2次検査の判定、検査態勢の不備などが論点。
「全頭検査で安心」はメディアと行政、消費者団体が作り出した神話。
▽食肉処理場で担当者が「危険部位の除去を忘れても、検査しているから」には啞然
▽不思議なのは、ピッシングがあっても、国産牛肉の問題を追及した消費者団体が
いないこと。「国産は絶対に安全」という団体もあった。
- ⑨どうすれば正確な情報が入手できるか。リスク情報機関があればよい。

⑩10億分の1の確率をどう見るか。

◇私が10億分の1になったらどうするのか

◇人の命をどう思っているのか

◇たとえ10億分の1でも、お金を出して対策をとるべきだ

◇水道水の基準は10万人～100万人に1人は、がんになっても許容するリスク。

◇3000億円で何ができるか。もっと命が救えるはず。難病や不妊治療など

◇農薬の残留基準はなぜ、すべて0.01ppmにならないか

◇砂防ダムを完璧につくれば、500年に1度の洪水に対処できるのに、なぜ
500年耐用のダムができないのか

◇規制を強めると、生産者の負担が増える。鳥インフル、BSEでは生産者が死亡
※消費者のリスクか生産者か。カット野菜で夜間に働き女性たちの健康リスクは

どうなるの?

※ピッシングでも処理場の人のリスクが高いなら許されるか

◇お金を段々と使っていくと、徐々にリスクを減らす効果は下がっていく。

01年当時の100億円と、いまの100億円の効果は違う、もっと別のリスクの
高い分野に100億円を使う方が合理的(これは国、集合的な意味の政策、個人で
避けたい人は避ければよい)。

★もっと経済学的な議論が必要なのでは。

ロデューサー 「パイ150分」

捏造だとか嘘だとか
言われるのは非常に心外と
開き直るゴーマン体質

不二家の「パイ150分」に関する捏造報道について、不二家の広報担当者が反論した。不二家は、このパイ150分は、1日150分という短時間で製造されたという捏造報道に対して、非常に心外だと述べ、開き直る体質だと強調した。

週刊文春

不二家の「パイ150分」に関する捏造報道について、不二家の広報担当者が反論した。不二家は、このパイ150分は、1日150分という短時間で製造されたという捏造報道に対して、非常に心外だと述べ、開き直る体質だと強調した。

不二家の「パイ150分」に関する捏造報道について、不二家の広報担当者が反論した。不二家は、このパイ150分は、1日150分という短時間で製造されたという捏造報道に対して、非常に心外だと述べ、開き直る体質だと強調した。

不二家は「パイ150分」を捏造すべきだ

不二家の「パイ150分」に関する捏造報道について、不二家の広報担当者が反論した。不二家は、このパイ150分は、1日150分という短時間で製造されたという捏造報道に対して、非常に心外だと述べ、開き直る体質だと強調した。



不二家の規定で明らかになった製造工程。不二家は、このパイ150分は、1日150分という短時間で製造されたという捏造報道に対して、非常に心外だと述べ、開き直る体質だと強調した。

不二家の規定で明らかになった製造工程。不二家は、このパイ150分は、1日150分という短時間で製造されたという捏造報道に対して、非常に心外だと述べ、開き直る体質だと強調した。

期限切れ原料使用

雪印の「二の舞い」

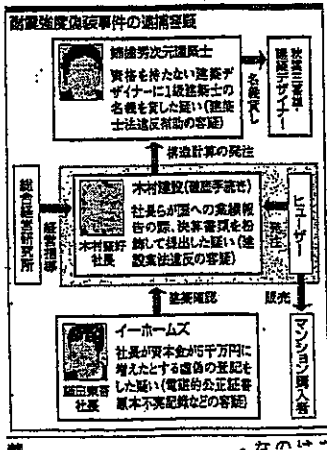
不二家、公表先延ばし

雪印の「二の舞い」に関する報道について、雪印の広報担当者が反論した。雪印は、この「二の舞い」は、1日150分という短時間で製造されたという捏造報道に対して、非常に心外だと述べ、開き直る体質だと強調した。

雪印の「二の舞い」に関する報道について、雪印の広報担当者が反論した。雪印は、この「二の舞い」は、1日150分という短時間で製造されたという捏造報道に対して、非常に心外だと述べ、開き直る体質だと強調した。

①

姉齒元建築士を逮捕



木村社長ら7人も
名義貸し耐震偽装解明へ
捜査本部

逮捕された8人(呼称略)
【建築士流布反骨】
姉齒元次(48) 元1級建築士
秋葉三壽雄(48) 建築士デザイナー
【耐震偽装反骨】
木村隆好(74) 木村建設社長
藤原 勇(45) 同、元東京支店長
藤下三寿(51) 同、元常務
藤本正徳(48) 同、元常務
【電磁的公正証書原本不実記載等
類など】
新田康幸(44) イーホームズ社長
坂本光四(56) 同、同社元
副社長

名義貸し
決算粉飾
虚偽登記

2006年(平成18年)3月7日 火曜日

三井住友・大和証券 統合へ

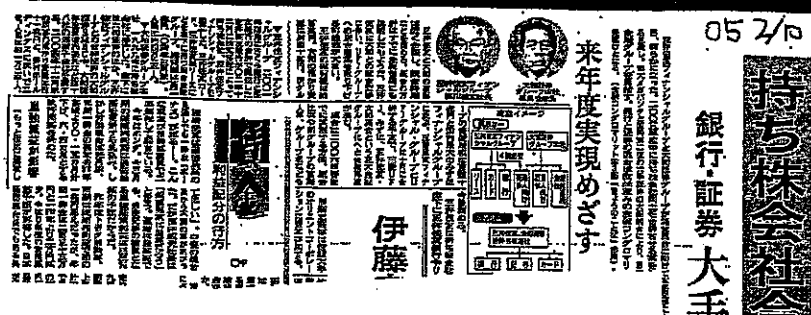
05/2/0

来年度実現めどす

銀行・証券 大手初の融合

持ち株会社 合併交渉

伊藤



日本経済新聞 2007年(平成19年)2月28日(木曜日) 第22822号 (日刊)

日興、上場廃止へ

不振による最近の主な
東京での上場廃止

日興証券 上場廃止

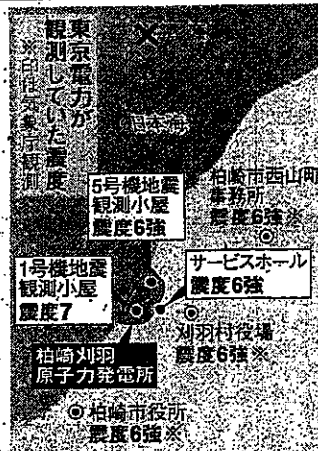
中越沖地震

柏崎原発では「震度7」

東電、国・地元にも報告せず

7月の新潟県中越沖地震の際、東京電力の柏崎刈羽原子力発電所敷地内で、阪神大震災級の「震度7」の揺れが観測されていたことがわかった。気象庁がこの地震で観測した最大震度「6強」を上回る強い揺れに直撃されたことになり、東電は震度の値を公表せず、国や地元自治体にも報告していなかった。

気象庁は、2006年以降、地震計の計測したデータから計算するやり方に改めた。この計測震度を10段階に分けて「震度」として公表(1:0.1、2:0.2、3:0.3、4:0.4、5:0.5、6:0.6、7:0.7、8:0.8、9:0.9、10:1.0)だが、同庁作成の震度別被害状況の目安によると、震度7は「人間は揺れにほんろうまわって自分の意志で行動できない。耐震性の高い建物でも傾いたり大きく破壊することがある」



損傷は見つかっていないが、発電タービンの羽根同士が接触など、約3000件のトラブルが報告されている。

東電は、地震の波形も最大加速度などのデータは国などに報告したが、震度は伝えておらず、記者会見でその理由、隠したわけはともや及していない。「あくまで参考値で、原子炉など合わせては、計測震度の数値を報告してきただけ」といふ。

（法務部）と判断したが、隠したわけはともや及していない。「あくまで参考値で、原子炉など合わせては、計測震度の数値を報告してきただけ」といふ。

柏崎原発 実は震度7

中越沖地震 東電、一般公表せず

新潟県中越沖地震の際、東京電力の柏崎刈羽原子力発電所敷地内で、阪神大震災級の「震度7」の揺れが観測されていたことが24日、分かった。東電は、この揺れを「震度7」として公表せず、国や地元自治体にも報告していなかった。

気象庁は、2006年以降、地震計の計測したデータから計算するやり方に改めた。この計測震度を10段階に分けて「震度」として公表(1:0.1、2:0.2、3:0.3、4:0.4、5:0.5、6:0.6、7:0.7、8:0.8、9:0.9、10:1.0)だが、同庁作成の震度別被害状況の目安によると、震度7は「人間は揺れにほんろうまわって自分の意志で行動できない。耐震性の高い建物でも傾いたり大きく破壊することがある」

計測震度を算出した1号機の地震観測小屋で震度7

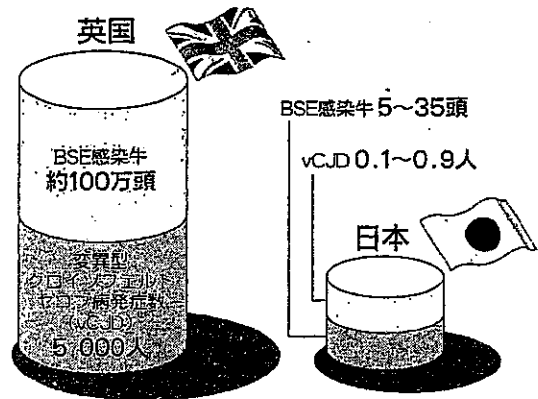
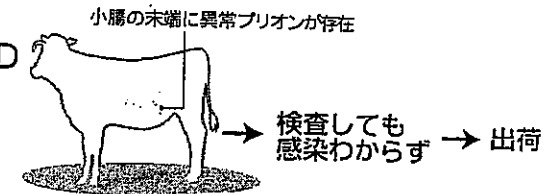
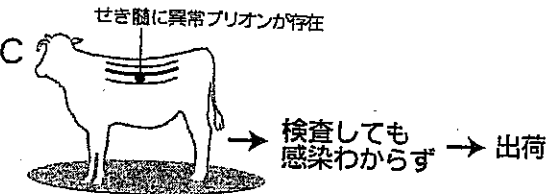
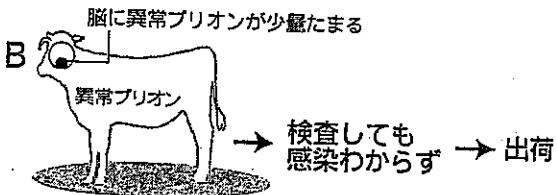
計測震度を算出したのは、04年の新潟県中越沖地震の川口町しかない。

東電によると、7月未だに、地表付近の揺

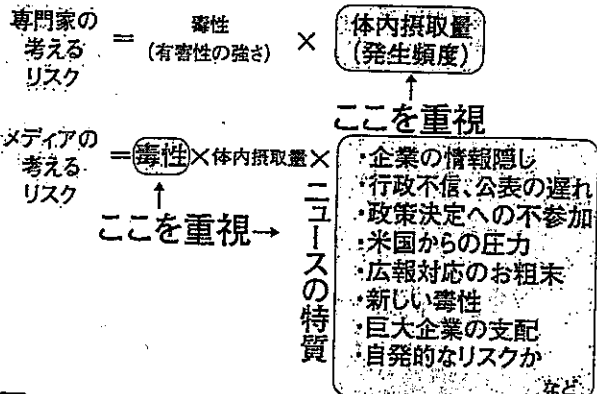
度と震度を算出。1号機の地震観測小屋での計測震度は6.5(震度)だった。5号機は6.6(強)、敷地南部のサービスホールは6.1(同)だった。

東電広報部は「原発の耐震安全性の評価に

脳に大量の異常プリオンが蓄積

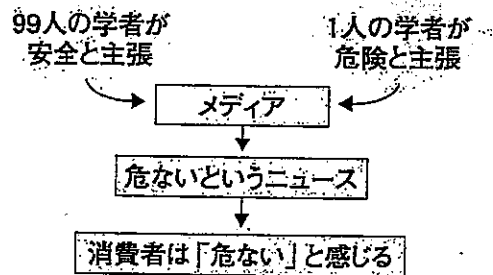


専門家とメディアのリスク観の違い



ポイント) メディアはニュース性(ニュースの特質)を重視しながらリスクに関する情報を流すため、客観的なリスクを伝えないケースが目立つ。

メディア情報の伝わり方はリスクを増幅する



ポイント) メディアは危ないという情報を強調して流すため、専門家や行政の意図とは異なるリスク情報が消費者に届く。

リスク情報チェック機関のしくみ

